

# Microsoft Exchange 2013 へのメッセージから ESA X ヘッダーが削除される

## 目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Email Security Appliance (ESA) 経由で Microsoft Exchange 2013 メール サーバに送信された電子メール メッセージに X ヘッダーとカスタムの X ヘッダーが表示されない理由と、その問題の解決方法について説明します。

## 背景説明

ESA では、X ヘッダーを使用して、ESA に関連する特定の機能が注入されます。これらのヘッダー、そのような機能の値と出力を記録するのに使用されます。

次に、X ヘッダーの例をいくつか示します。

X ヘッダー	機能	値の例
X-Ironport-Anti-Spam-Filtered	スパム対策	True/False
X-Ironport-Anti-Spam-Result	スパム対策	<hashed result>
X-Ironport-AV	ウイルス対策	encoded details pertaining to AV scanning
X-Amp-Result	高度なマルウェア	Clean/Malicious/Unscannable
X-Amp-Original-Verdict	高度なマルウェア	File unknown/Verdict unknown
X-Amp-File-Uploaded	高度なマルウェア	True/False
X-IronPort-Outbreak-Status	ウイルス発生フィルタリング	\$threat_verdict
X-IronPort-Outbreak-Description	ウイルス発生フィルタリング	\$threat_description

ヒント：これらの機能やその他の機能で使われるさまざまな他の X ヘッダーがあります。詳細については、『[ESA エンド ユーザ ガイド](#)』を参照してください。

ESA では、注目すべき主な X ヘッダーは、通常、X-Ironport-AV ヘッダーと X-Ironport-Anti-Spam ヘッダーです。

```
X-Ironport-Av: E=Sophos;i="5.11,502,1422939600"; d="scan'208,217";a="54"  
X-Ironport-Av: E=Sophos;i="5.11,502,1422921600"; d="scan'208,217";a="408151624"  
X-Ironport-Anti-Spam-Result: A0DdCADh5RpV/5RdJa1cgkNDUlwFtDiPCYI0hXcCgUhMAQEBAQE  
BeQSEGxlyAQsBAnInBIhCpTCpC4xhh3QFgzONL41liziJAYKBRQyCHW+BRH8BAQE  
X-Ironport-Anti-Spam-Filtered: true
```

これらのヘッダーは、[スパムや偽陽性のメッセージ](#)をさらに検討するためにシスコに直接提出するのに使用します。そのようなヘッダーには、もともと ESA から提示された、または ESA に対して提示したメッセージを処理するのに使用される機能の値が含まれています。

## 問題

Xヘッダーは、ESA によって Microsoft Exchange 2013 に処理されている一部の電子メール メッセージは表示されません。

Microsoft Exchange には、「受信および送信メッセージから特定のヘッダーフィールドを削除するヘッダー ファイアウォール オプション」があります。この問題は、ESA から注入された Xヘッダー部分が削除されたために、シスコ サービス側でルーティングや処理の問題が発生したときに見られます。

Microsoft TechNet の[ヘッダー ファイアウォール](#)のセクションには、この問題について次のように説明されています。

ヘッダー ファイアウォールは、信頼できない送信元から Exchange の組織が受け取る受信メッセージから、Exchange 関連の Xヘッダーを削除することで、そのようなヘッダーのスプーフィングを防ぎます。ヘッダー ファイアウォールは、Exchange の組織外の信頼できない宛先に送信される送信メッセージから、Exchange 関連の Xヘッダーを削除することで、そのようなヘッダーの情報が開示されるのを防ぎます。さらに、ヘッダー ファイアウォールは、メッセージのルーティング履歴を追跡するのに使用される標準のルーティング ヘッダーのスプーフィングも防止します。

## 解決策

この問題を解決するには、Microsoft Exchange 2013 環境のオプションと設定を確認し、Header Firewall オプションが有効になっていないことを確認することを推奨します。

また、ヘッダー情報が正しく入力されていることを確認してください。ESA および Microsoft Exchange 環境経由で処理されたメッセージには、メッセージごとに正しく書かれた raw ヘッダーが含まれる必要があります。エンドユーザーが使用する電子メール アプリケーションによっては、さまざまな方法を使用してこれらのヘッダーが表示されます。

ヒント：追加情報については、『[電子メール ヘッダーの取得方法](#)』MXToolBox ドキュメントを参照してください。

## 関連情報

- [Cisco E メール セキュリティ アプライアンス エンド ユーザー ガイド](#)
- [ESA 上での X-IronPort-AV ヘッダーのデコード方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)